

「江内中学校の山田樂伝承活動の取組」

1. 学校名	出水市立江内中学校
2. 学年・人数	2年生 11人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年5月～9月 江内中学校体育館・校庭 (2) 発表の日時・場所 令和7年9月28日 江内小・中学校合同運動会
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 江内山田樂（えうちやまだがく） (2) 由来 山田樂は、約350年前、出水郷地頭の山田昌巖が武士の士気を鼓舞するために作った踊りとされている。出水地区の4校区で伝統芸能として継承されている。江内山田樂は、以前青年団が踊っていたが、途絶えていた。1995（平成7）年、江内中学校創立50周年に合わせて復活させ伝承する目的で、江内山田樂保存会が結成された。 (3) 構成等 構成は、鐘・柴（小太鼓）・宮（大太鼓）の3つからなる。鐘の先頭の親鐘が要所で合図を送る。親鐘を先頭に柴と宮の太鼓が続いて、練り歩き入場する。その後、3列になり、正面を向き、整列する。鐘を内円とし、柴と宮で外円をつくり、二重の円を作り、演舞する。最後、再び3列になり、正面を向き整列、一礼した後、そのまま退場する。1～6番からなる構成により、出征から凱旋の形を太鼓踊りに組んでいる。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	(1) 保存会や地域との連携の具体 江内小学校5・6年生と江内中学校2年生が江内山田樂保存会の方から指導を受けて、小中合同運動会等で踊りを披露している。 (2) 文化財伝承・活用の取組の工夫した点 2年生の総合的な学習の時間に「山田樂の継承」を設定し、小・中学校で年間計画を作成し、山田樂保存会の方に協力いただきながら練習している。中学2年生は、小学生の時の経験を生かし、練習内容を工夫したり小学生にアドバイスしたりしている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  <p>小中合同の練習風景</p> <p>小中合同運動会での発表</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【生徒】保存会の方の講話や説明をきいて、1回の練習の大切さや相手を思いやることの大切さを学んだ。中学生、小学生ともにコミュニケーションを図りよい演技にすることができた。</p> <p>【保存会から】学校と密に連携しながら、児童生徒の演舞を支援し、安定した継承活動が行えている。運動会での演舞により、地域の方に活力を与えると共に、子供たちの郷土愛の醸成に寄与している。</p>